

第 29 回霧ヶ峰自然環境保全協議会議事録

- 1 日 時 平成 29 年 3 月 2 日（木）午後 1 時 15 分～3 時 30 分
- 2 場 所 諏訪合同庁舎 5 階 講堂
- 3 出席者 21 団体
- 4 会議内容

【確認：事務局 赤羽環境課長】

協議に入る前にお手元の資料の確認をお願いします。

協議会次第と委員名簿がございます。資料 1-1 として個別作業実施報告について、資料 1-2 が「①ススキ、ニッコウザサ群落の刈取りによる植生変化 3 年目②ハルザキヤマガラスの駆除 3 年目」、資料 1-3 が「外来植物の駆除について」、資料 3 が平成 29 年度霧ヶ峰自然環境保全協議会の取組み（案）について、資料 4 が平成 29 年度霧ヶ峰における電気柵等の設置（案）について、資料 5 が霧ヶ峰における忌避剤の実証試験について、資料 6 が霧ヶ峰スキー場敷地内におけるマツムシソウ播種計画について、資料 7-1 が霧ヶ峰ルートにおけるニホンジカ確認頭数について、資料 7-2 がニホンジカライトセンサスの実施状況について、資料 8 が第 6 回美ヶ原トレイルラン&ウォーク in ながわ大会の結果報告及び第 7 回大会の実施について、以上ですがよろしいでしょうか。乱丁及び資料の足りない委員さんは挙手をしていただきたいと思います。事務局職員が資料をお持ちします。それではただいまから、第 29 回霧ヶ峰自然環境保全協議会を始めさせていただきます。本日は、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。これより協議に入りますが規約第 9 条第 1 項により議長は座長が務めることとされています。つきましては土田座長に議長をお願いいたします。

【土田座長】

座長の土田でございます。

本日は天候が悪くなり雪が降ってまいりました。年度末のお忙しいところ、ご参集いただきありがとうございます。本年度第 2 回目の霧ヶ峰みらい協議会の開催となります。平成 26 年に手探りで始めた自然再生の作業でございますが、3 年目の本年度は今までの経験を活かし、多くの皆様方のご協力のもと予定した作業を無事終えることができました。また、後ほどモニタリング調査の報告を申し上げますが一定の効果も確認できた地区もございます。誠にありがとうございました。この作業は引き続き継続し効果を検証し他地区へ広げることになっていきますが、来年度が 4 年目になります。継続して実施することに大きな意味があると思いますので、来年度もよろしくお願いします。本日は冒頭、個別作業の実施状況とモニタリング調査の状況を報告させていただき、来年度の個別作業について提案をさせていただきます。平成 29 年度に予定するそのほかの協議会事業について提案をさせていただきたいと思います。内容が盛りだくさんですが終了時刻は、3 時過ぎを予定して

おります。皆様からご意見をいただきより良い方向へ進めたいと思いますのでご協力をお願いいたします。座らせていただきます。協議事項に入る前に皆様にご承知いただきたい事項がございます。本日報告事項の霧ヶ峰スキー場敷地内におけるマツムシソウ播種事業についてのご説明に、諏訪商工会議所様に、第6回美ヶ原トレイルラン&ウォークながわ大会の結果報告及び第7回大会の実施についてのご説明にフィールズ有限会社様にお越しただいております。本来ならば協議会の委員以外は発言権がございませんが、各種事業の実施主体ですので発言することをご承知おきください。それでは協議事項に入ります。協議事項の(1)霧ヶ峰自然保全再生に係る個別作業についての作業の報告を事務局から、またモニタリングの報告を私と大窪先生の方から説明させていただき、引き続き来年度の計画を事務局から説明させていただきます。その後でご質問等を一括して受けたいと思いますのでよろしく申し上げます。

【事務局：赤羽環境課長】

資料1-1について説明

【土田座長】

資料1-2について説明

【大窪教授】

資料1-3について説明

【事務局：赤羽環境課長】

資料2について説明

【土田座長】

ありがとうございました。

それではただ今の報告について、地権者の皆様から補足がございましたらお願いします。
(補足なし)

【土田座長】

それでは3つのご報告に関しまして、何か、ご質問・ご意見がありましたらお願いします。

【環境会議諏訪：飯田 氏】

ササの刈取りといいましたが、地下茎はそのままになっているか。それとススキの刈取りは、以前に火入れをしていた代わりにあの山火事で降できないということで刈取り中

心になったと考えてよろしいのでしょうか。もう 1 つオオハンゴウソウを比較すると処置したところとしないところでだいたい 80%~90%が在来種で、そのまま残っていると解釈したが、言い方を変えると意外にオオハンゴウソウは増えないのではないかと考えたが以上 3 点をお願いします。

【土田座長】

ありがとうございます。まず、ササの刈取りは地上部だけでございます。地下までは実施しておりません。ススキの刈取りは火入れの代替ではないかというご質問ですが、それもあります、刈取りによって草原再生ができるのではないかという前提なり、予想のもとで刈取りを行うということで、火入れそのものとの比較とか、代替とか、ということでは今のところ考えてはおりません。あとオオハンゴウソウの方は大窪先生お願いいたします。

【大窪教授】

オオハンゴウソウは無処理区について、そんなには増えていないのではとのお話でしたが、数値的には徐々に増加している傾向があります。

【環境会議諏訪：飯田 氏】

抜かないところと処置したところで、在来種が 80%~90%近くで、誤差の範囲であると思うが、外来種が意外に爆発的に増えないのではと思ったのですがいかがですか。

【大窪教授】

このオオハンゴウソウはかなり優占度が元々高く、既に優占している状態のもので、増加の速度にするとそこまで顕著ではないと思います。

【環境会議諏訪：飯田 氏】

抜き取りと刈取りで以前、7~8年前に問題になった。頭を刈取って種ができないようにする方が好ましいと先生から聞いたが、抜き取りがどうなのか聞きたい。

【大窪教授】

オオハンゴウソウについては、根本的には掘り取りをしないと駆除の効果が得られないという結論になっています。実験をしている強清水湿原では、オオハンゴウソウの分布しているところがあまりにも広がったので、個別作業計画の時には全面的に掘り取りがなかなかできないので、種子を作らせないように、刈取りの処理しかしていないところもある。このモニタリングをしている調査区においては、掘り取りのみで結果をみている状態です。

【環境会議諏訪：飯田 氏】

今の件とは関係ないが、セイヨウタンポポの件ですが全国で 8 割以上の占有率といます。そうすると趣旨は理解できるが、毎年採っても効果があるのかと。霧ヶ峰でもセイヨウタンポポの占有率は圧倒的に高いわけですね。

【大窪教授】

場所によって違うと思うのですが、車山の方で外来タンポポの分布している場所というのは、わりと範囲が広いかなと思います。

【環境会議諏訪：飯田 氏】

そうすると完全に占有しているわけですね。趣旨はもっともでいいのだけれども、労力を考えたら疑問に感じます。これ私個人の感想です。回答はなくて結構です。

【土田座長】

その他ございますか。よろしいですか。それでは、協議事項（1）のご質問、ご意見を締め切らせていただきます。

【大窪教授】

すみません。資料 2 に誤植があると思いますがよろしいですか。事務局から説明のありました平成 29 年度個別作業計画（案）についての裏面ですが、⑤の外来種駆除、オオハンゴンソウの駆除のところの作業予定日時が 6 月 23 日（土）でなく 24 日ではないでしょうか。

【事務局：赤羽環境課長】

すみません。ご指摘ありがとうございます。間違いがありました。6 月 23 日（土）でなく 6 月 24 日（土）に修正をお願いします。

【土田座長】

この訂正を含めて協議事項（1）についてお諮りいたします。平成 29 年度の個別作業を原案のとおり進めてよろしいでしょうか。異議なしのお声が多数と思いますのでこのとおり進めていきたいと思っております。ありがとうございます。個別作業ですが、当面、2 年間は継続して実施する予定でございます。今までは環境省の生物多様性事業を活用して 2 年間、今年度は県の地域発元気づくり支援金事業として実施しましたが、来年度は県の地域課題の解決や地域の活性化等に向けた取り組みを実施するための、地域振興推進費を活用する予定です。3 年間の経験を活かして、更に効率的、効果的な作業を実施し

てまいりたいと思います。今年度と同様、詳細が決まりましたら事務局で皆様にお知らせし、広く一般のボランティアも募集してまいります。多くの人の力を結集して霧ヶ峰の自然再生を進めてまいりたいと思いますので積極的に参加いただきますようお願いいたします。それでは続きまして協議事項(2)の平成29年度霧ヶ峰自然環境保全協議会の取組み(案)について及び(3)の平成29年度霧ヶ峰における電気柵等の設置(案)にまいります。資料3の平成29年度霧ヶ峰自然環境保全協議会の取組み(案)及び、平成29年度霧ヶ峰における電気柵等の設置(案)について続けて事務局から説明をお願いいたします。一括してご質問、ご意見等受けたいと思います。よろしく願いいたします。

【事務局：赤羽環境課長】

資料3と4について説明

【土田座長】

ありがとうございました。平成29年度に霧ヶ峰自然環境保全協議会として実施する事業につきまして説明がありました。資料4の電気柵等の設置について下桑原牧野農業協同組合さん、車山高原観光協会さん、補足がございましたらお願いします。

(補足なし)

【土田座長】

ただ今の説明につきまして、何かご質問はございますか。また、ご意見はございますでしょうか。延焼地の影響調査結果については、5月の協議会で報告があるそうなので報告を受けたいと思います。ご意見ありませんので、平成29年度霧ヶ峰自然環境保全協議会の取組み(案)及び、平成29年度霧ヶ峰における電気柵等の設置(案)につきましてお諮りしたいと思います。提案のとおり実施してよろしいでしょうか。

【委員】

異議なし

【土田座長】

異議なしということですので、このとおり進めさせていただきます。ありがとうございました。平成29年度も引き続き霧ヶ峰自然環境保全実施計画の多くの作業が予定されていますその他にも継続する事業、構成団体独自の事業等多くの計画があります。来年度も構成団体の皆さんにはそれぞれの立場でご協力をいただきたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。本日の協議事項は以上でございます。時間が長くなりましたのでここで5分間の休憩をします。

短時間の休憩ではございましたがそれでは、再開します。

報告事項に入ります。(1) 霧ヶ峰における忌避剤の実証試験について自然保護課からお願いします。

【環境部自然保護課：宮原課長、神谷係長】

資料5について説明

【土田座長】

ただ今の報告につきまして、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。忌避剤の件でございます。

【環境会議諏訪：飯田 氏】

以前、どういう成分か聞きました。特に毒性はないと思いますので、大いに使っていたらいいのですが手で撒くのは大変なので、もし効果あるならば無人ヘリコプターとかドローンの活用も是非考えてください。手で撒くのは試験的には良いかもしれませんが限界があります。一応要望です。

【環境部自然保護課：宮原課長】

成分につきましては、以前お話しましたとおり卵の成分を中心としております。自然のものということです。散布につきましては、今後、費用対効果・労力の点も含めて検討してまいります。(薬剤の使用は使用を考えている) 皆さん次第なので、状況に応じて無人ヘリなり、ドローンの活用を考えていただければと思います。試験については今のところ人力による方法を考えています。

【土田座長】

他にございますか。

【大窪教授】

薬剤の使用については、樹木用薬剤ということで草本植物に適用が可能か試験をされていると思いますが、自然公園は、一般的な地域より自然性が高いということで指定がされているので、できれば自然公園以外の場所で草本植物に適用できるかという実験をされてから、霧ヶ峰のような自然公園内で適用を試験するという考え方がなぜ先にこないのかなと思っているのですが、自然保護課ではどうお考えなのか説明をしていただきたいのですが。

【環境部自然保護課：宮原課長】

この食害試験、それから葉害試験、資料5の1ページ目でございますように、既に平

成 26 年から始めています。平成 26 年頃は長野県の林業総合センターで薬害ですとか、食害の試験をやっていますけれども、より実践的な場所ということ、先程説明しましたとおり、薬剤を人力で散布するということから、そういった体制が整う場所、そして今回のように霧ヶ峰のニッコウキスゲを再生するというか守るという意味から、今回霧ヶ峰で実施させていただいたところでもあります。お話の趣旨、自然公園という意味につきましては、おっしゃる点は分りますので、今後、このような実験をする場合には十分考えていきたいと思いますが、今回、霧ヶ峰を選定したのはそういった複数の理由があったということでございます。

【大窪教授】

承知しました。

【土田座長】

他にございますか。なければこれで終了します。続きまして (2) 霧ヶ峰スキー場敷地内におけるマツムシソウ播種事業について諏訪市観光課及び諏訪市商工会議所から報告をお願いします。

【諏訪市観光課 金子課長及び諏訪市商工会議所：中沢 氏】

資料 6 について説明

【土田座長】

ただ今の報告につきまして、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

【環境会議諏訪：飯田 氏】

現状はどうなっているのか。オオハンゴウソウが多いのか、ススキが多いのか、今の状態は。

【諏訪市商工会議所：中沢 氏】

専門的なことが分からなくていけないが、現状、マツムシソウはほとんどなく、シダ状のものが多いです。ちょっと専門的なことが分からなくて大変申し訳ないです。

【環境会議諏訪：飯田 氏】

ススキが結構多いと思っているが、どうですか。

【諏訪市商工会議所：中沢 氏】

専門的なことは分りません。

【土田座長】

これは、モニタリングはされるのですか。

【諏訪市商工会議所：中沢 氏】

モニタリングというか、一応、経過は観察する予定でいます。

【土田座長】

マツムシソウは種を蒔いてもすぐには咲かず、最低2年位かかりますので、2年後からはシカ柵も含め検討するということになるかと思えますけれども。大窪先生、特にございませんか。

【大窪教授】

マツムシソウを試験的に播種する一番の目的は、マツムシソウの花畑を作るという意味もあるのですか。確認したいのですけれども。

【諏訪市商工会議所：中沢 氏】

花畑という表現ではない。一応近隣の観光施設も含めてヒアリングしたところ、以前はかなりマツムシソウが咲いていた。今は鹿とか環境の変化でほとんど咲かなくなって、種もこぼれなくなってしまった。花畑というよりも以前の環境をみんなで取り戻したいと、それが主旨です。

【大窪教授】

反対ではないが平成25年度に策定された霧ヶ峰の自然保全再生計画に基づいて、その中でこの事業はどんな位置づけにあるかというところをまた考えていただければありがたいかなと思います。

【諏訪市商工会議所：中沢 氏】

勉強して、またご報告できるようにします。

【土田座長】

いつごろ蒔きますか。

【諏訪市観光課及び諏訪市商工会議所：中沢 氏】

今年は種の採取だけになると思うので牧野さんとも相談しながら秋口か来年の春か、どちらかだと思えます。

【土田座長】

では、5月の協議会で再度検討させていただければと思います。

【大窪教授】

平成25年度に策定されました、協議会の中で議論して決めてきた自然保全再生計画に基づいて、この事業がどういう位置付けにあるかということと、そこに位置付けられているのは、ある一つの在来種にしても、一つの植物を増やすということよりも、群落としてこれまでであった、昭和30年代の草原を再生しましょうという、考え方に基づいた計画なので、マツムシソウを増やすという考えも良いと思うが群落として再生させるためには、どういうことをすればよいかということが再生計画に書かれていると思いますので参考にしていただきたいと思います。

【諏訪市観光課 金子課長】

先生からご指摘いただきました再生計画、その位置づけ等検討させていただきまして、5月に報告させていただきたいと思います。いずれにしても、霧ヶ峰の再生ということで一生懸命取り組んでいますので、その辺も汲んでいただければと思っています。

【土田座長】

それでは、もう一度ご検討いただければと思います。他に何かございますか。では、この件は終了させていただきます。次にニホンジカライトセンサスの実施状況について「霧ヶ峰ルート」におけるニホンジカ確認頭数についてとニホンジカライトセンサスの実施状況について諏訪地方事務所林務課と環境保全研究所から説明をお願いします。続いて報告いただいた後で一括してご質問、ご意見を受けたいと思います。よろしくお願いいたします。

【諏訪地方事務所林務課：中島企画幹】

資料7-1について説明

【環境保全研究所：尾関研究員】

資料7-2について説明

【土田座長】

ありがとうございました。ただ今の報告につきまして、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

【環境会議諏訪：飯田 氏】

これだけで鹿が確実に減ったと断言してよいのかと。長野県の実際の鹿の頭数は。

【諏訪地方事務所林務課：中島企画幹】

一応、捕獲される頭数は諏訪と同じように減ってはきております。ただ、長野県の昨年の調査結果では平成 22 年よりは鹿の頭数が増えているという結果になっておりまして、捕獲を強めたことで捕獲をしていない場所に鹿が移動した可能性や、平成 26 年の冬は豪雪等で鹿の動きが鈍くなって捕獲がされた可能性が考えられる。調査結果と捕獲頭数はアンバランスな結果となっていますので、県の鳥獣・ジビエ対策室で検証しているところで、確実に減っているかの結論は今のところ出ていない状況です。県の調査方法が平成 22 年と平成 27 年で調査方法が変わっているので、調査方法の違いも要因なのかどうかも含めて検証中でまだ結論がでていない状況になっております。

【環境会議諏訪：飯田 氏】

分りました。

【土田座長】

他にございますか。では鹿の調査結果については終了させていただきます。

続きまして第 6 回美ヶ原トレイルラン&ウォーク in ながわ大会の結果報告及び第 7 回大会の実施について長和町観光協会及びフィールズ有限会社から報告をお願い致します。

【長和町観光協会：丸山事務局長】

【フィールズ有限会社：細川 氏】

資料 8 について説明

【土田座長】

ただ今の報告につきまして、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

【茅野市観光課：大作 氏】

第 7 回的美ヶ原トレイルランについてお話がありました。実施会社の方からこのコースでやらせていただきますという話がありました。茅野市も通ることになっていますが、まだ茅野市としては全く説明を受けていません。詳細の検討もされていません、現時点で実施するということではございませんので、そのことを間違えないようお願いいたします。

【フィールズ有限会社：細川 氏】

言い方を間違えました。このコースを予定しているので、これから各市町村と細かい

打合せをさせていただければということなので、よろしくお願ひ致しますということですので訂正いたします。

【土田座長】

他にありますか。よろしいですか。それではこの件につきまして終わらせていただきます。その他、各団体から何かございますでしょうか。

【小和田牧野農業協同組合：藤森組合長】

先程、電気柵の実施状況についてお話がありましたが、小和田牧野農業協同組合でも電気柵で若干囲った所がありました。次年度、イオン財団の助成金を使って、電気柵を新たに最長1kmに渡って新しい所に設置しようと思っています。場所として考えているのはインターチェンジから池のくりに向かって下っていく中ごろの道路の右側の辺りに作りたいと思っています。次年度は電気柵を張って、中のススキの刈取り、ニッコウキスゲあるいはマツムシソウの種の播種を考えています。

【土田座長】

他に事務局から何かありますか。ありませんか。以上を持ちまして本日、全ての議題・報告を終了させていただきます。次回の開催予定につきまして、事務局から願ひします。

【事務局：赤羽環境課長】

次回でございますが、例年どおり5月下旬に開催したいと思います。併せてその時に草原再生協議会を実施したいと思います。詳細につきましては日程が決まったところで、できるだけ早くこちらから連絡したいと思いますのでよろしく願ひいたします。

【土田座長】

事務局から次回は5月下旬に諏訪合同庁舎にて開催したいとのご意見がありました。よろしいでしょうか。また同日に草原再生協議会の総会を開催するということですので、会員の皆様のご出席を願ひします。具体的な日程は決まりしだい、早めに皆様にご連絡させていただきます。次回の協議会が開催される頃には、来年度の個別作業の募集が始まっていると思いますので、皆様のご協力を願ひいたします。

【事務局：赤羽環境課長】

座長さん、どうもありがとうございました。以上をもちまして第29回霧ヶ峰自然環境保全協議会を終了させていただきます。時間が遅くなりましたが、お気をつけてお帰りいただきたいと思います。どうもありがとうございました。